

※掲載しているイベント・休館日などの情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止または変更になる場合があります。最新の情報は図書館ホームページをご確認ください※

図書館つうしん

岡中央図書館 Tel 24-1507

【8月の休館日】

1日(月)・8日(月)・11日(木)祝・15日(月)・22日(月)・29日(月)

イベント情報、資料検索・予約は図書館HPで▶



紹介

除籍図書のリサイクルコーナー

除籍図書のリサイクルコーナーをつくりました。
どなたでも何冊でも持ち帰りOK!どうぞご利用ください。

【場所】

石岡市立中央図書館(若宮):雑誌棚前、展示ケースの脇
郷の本棚やさ図書館(柿岡):八郷総合支所2階入口前通路

【期間】 8月2日(木)~当面の間 図書館開館時

※石岡市以外の人でもご利用できます。冊数の制限はございません。なお、袋・カゴなどはご持参ください

◆こども図書館

(午前10時30分~)

6日(土) おはなし玉手箱

18日(木) ひよこのおはなしかい

20日(土) むかしむかしのおはなし会

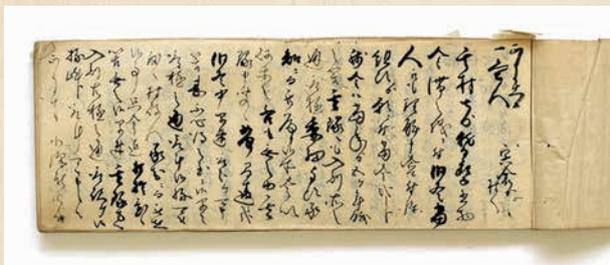
◆郷の本棚やさ図書館

(午後2時30分~)

13日(土) おはなしフレンズ

お知らせ 雑誌棚前ケースの展示

夏休みから、雑誌棚前ケースの展示が変わりました。
復刻版こどもの雑誌「赤い鳥」のほか、図書館に長年保存されていた大正後期~昭和初期のこどもの雑誌(復刻版)を展示しました。ぜひご覧ください。



▲文政5年 井関村諸御用留帳

時の記憶

シリーズ 201

「関川文書

文政5年井関村諸御用留帳

岡文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線 1455)

ごようどめちよう

御用留帳とは、役人から村、あるいは村から村への連絡事項を記録したものであり、当時の様子を教えてくれる重要な資料です。

関川文書には享和2年(1802)から明治9年(1876)まで、井関村と石川村を合わせて53冊の御用留帳が残ります。石岡市史中巻Iに掲載されている文政5年(1822)の井関村諸御用留帳をみると、8月15日に水戸藩による田んぼの現地確認の通知、9月1日に幕府による河川工事の現地確認の通知があります。どちらも役人の食事内容まで細かく指定されており、水戸藩は土地の食材で質素に済ませ、幕府には酒やお茶菓子まで用意することになっています。

水戸藩は年貢などに不正がないよう役人に厳しいルールを定めていたことが知られていますが、関川地区に残されていた御用留帳からも水戸藩が幕府に比べて役人の態度に厳しく、またその内容が各村まで周知されていたことがわかります。

今回紹介した関川文書は、現在ふるさと歴史館にて展示中です。

ふるさと歴史館第29回企画展
「関川文書・石岡の中の水戸藩」
期間/10月2日(日)まで
場所/ふるさと歴史館(総社1-2-10)
※入館無料

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

短夜や戦争に泣く千羽鶴
八十三はまだ若輩と若葉風
老い方は千差万別梅雨晴間
父の日や遺影にどんとコップ酒

やさと俳句会

破れ寺へ続く階苔の花
一陣の涼風に謝す野良帰り
雨あとの紫陽花庭を狭めけり
煙突の練瓦登攀の蔦青し

いしおか川柳会

さあ大変息子が彼女連れて来る
いい夢を見たけど朝に忘れてる
気象士がこりや叶わぬと雨蛙

石岡俚謡会

「茶摘み」歌って 新茶を淹れる 米寿二人の ここに幸
緑そよ風 ツバメを乗せて 我が家軒先 巣をかける
さつと差し出し 新茶はいかが 紙のコップの 特売所
物価値上げも どこ吹く風と 母が切り盛る 台所
母の涙を 笑顔で返し 着いたあの日の 上野駅
早苗ゆらゆら 鏡の田んぼ 筑波映って 緑風
壁もぶっ飛ぶ 戦火の街に 映し出された 緑の芽

投稿作品

巣立かな今日は静かなツバメの子
目の前にきれいな小川螢宿楽しむ声の家まで聞こえ
青田上燕の子等の宙返り

菅野 憲枝 (南台)

小池 さき子 (高浜)

野村 洋子 (東光台)

四日市 ゆみ子 (旭台)

鈴木 邦翠 (下林)

馬場 小零 (片岡)

中島 れい子 (部原)

岡村 素泡 (柿岡)

桜井 紀美子 (青田)

助川 浩史 (府中)

関 きみ子 (柿岡)

若色 茂 (山崎)

暁 夢華 (総社)

助川 浩史 (府中)

篠原 美千代 (国府)

福田 泰夫 (東光台)

川崎 洋子 (若松)

石塚 芳華 (石岡)

羽生 好之 (三村)

羽生 俊 (柴内)

大塚 豊子 (北根本)

スポーツ協会だより

第3回 「柔道部」

柔道部は八郷地区と石岡地区でそれぞれ活動しており、八郷地区では、毎週水曜日（八郷中武道館）と土曜日（八郷運動公園武道館）、石岡地区では毎週土曜日（石岡一高柔道場）で、小中学生から一般まで、楽しみながら稽古に励んでいます。

毎年12月には、石岡市親善武道大会を開催しており、市外からの参加を含め盛大に行われます。

稽古の積み重ねを通して、ケガや病気に強い身体を作るだけでなく、礼儀や相手を敬う気持ち、忍耐力など精神的にも成長できることが柔道の大きな魅力であると思います。



随時会員を募集していますので、興味がありましたら気軽にご連絡ください。

☎八郷地区柔道部 TEL 42-3470 (鬼沢)
石岡地区柔道部 TEL 24-2396 (中根)